

# 行財政改革実施計画・行動計画票

No.	35	[平成18年5月27日提出]			
基本方針	財政の健全化	担当課名	財政課		
重点項目	歳入確保のための主要な取り組み(2)受益者負担の適正化				
取組項目	受益者負担の原則、原価主義による使用料・手数料の見直し				
経過・現状 (H17.4.1現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当課において原価の把握を行い料金改定及び新設について検討する。</li> <li>・地域審議会や懇談会において、地域住民への説明等を行っている。</li> </ul>				
行 動 概 要	①目標	受益者負担の適正化			(目標年次) 平成18年度 (一部実施)
	②期待される効果	・使用料・手数料の見直し及び新設により、増収が見込める。			
	③必要性・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新町基準による料金平準化を含め、使用料・手数料について、受益と負担の公平性の確保のために見直しを行う。</li> <li>・原価については、毎年度把握し適度な時期において改訂を行う必要がある。</li> </ul>			
	④対象	全町民及び事業者等			
	⑤手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計( 492,000 千円)	
		17年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価の把握。</li> <li>・料金改定及び新設について検討。</li> </ul>	目標 数値	
				効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
		18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料手数料審議会において検討。</li> <li>・地域審議会や懇談会において、住民への説明。</li> <li>・条例改正(一部実施)。</li> </ul>	目標 数値	
				効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
		19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新料金の実施。</li> <li>・必要に応じ改定等について検討。原価の把握。</li> </ul> ※効果額については、歳入は財政健全化計画による。	目標 数値	
			効果	歳入( 164,000 千円) 歳出( 千円)	
	20年度	/	目標 数値		
			効果	歳入( 164,000 千円) 歳出( 千円)	
	21年度	/	目標 数値		
			効果	歳入( 164,000 千円) 歳出( 千円)	
関係例規等	名称		改正時期		

行財政改革実施計画・行動計画案

No.	35	[平成18年4月21日提出]			
基本方針	財政の健全化	担当課名	環境課		
重点項目	受益者負担の適正化				
取組項目	受益者負担の原則、原価主義による使用料・手数料の見直し				
経過・現状 (H17.4.1現在)	新設した汚泥再生処理センターは平成14年4月から稼働し、収集したし尿を処理している。しかし、し尿処理手数料は徴収していない現状である。				
行動概要	①目標	し尿処理手数料の新設 (目標年次) 平成19年度			
	②期待される効果	徴収した手数料の額を、年間(平成18年度198,010千円)の維持・管理費に充当することができる。			
	③必要性・問題点	現在、し尿処理に対する手数料は徴収していないが、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、又、他の市町村の例を参考にすると手数料を徴収することができる。但し、手数料の徴収方法に問題があると考えられる。その手法として手数料を処理業者から徴収すべきか、或いは、個人から徴収すべきかの問題が生じてくる。どちらにするにせよ大きな検討課題である。 し尿処理業者から徴収するとなると、委託料が発生する。 町民の自主納入にすると滞納があり、その徴収に苦慮する。			
	④対象	し尿処理収集業者又は町民			
	⑤手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計( 180,000 千円)	
		17年度 (実績)	手数料を課すことの検討 し尿処理業者に、手数料を徴収できるか打診したが、困難のようだ。	目標 数値	
				効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
		18年度	し尿処理業者(3者)と手数料徴収方法についての協議。 条例の制定をし、住民への周知につとめる。	目標 数値	
				効果	歳入( 千円) 歳出( 千円)
		19年度	・年間取扱量 約20,000ℓ ・単価設定 3円～5円/1ℓ ・例20,000ℓ×3円=60,000千円 ・経費等の把握に努める。	目標 数値	
			効果	歳入( 60,000 千円) 歳出( 千円)	
	20年度	・経費等の把握に努める。	目標 数値		
			効果	歳入( 60,000 千円) 歳出( 千円)	
	21年度	・経費等の把握に努める。	目標 数値		
			効果	歳入( 60,000 千円) 歳出( 千円)	
関係例規等	名称		改正時期		

# 行財政改革実施計画・行動計画案

No.	35	[平成18年4月21日提出]					
基本方針	財政の健全化		担当課名	環 境 課			
重点項目	受益者負担の適正化						
取組項目	受益者負担の原則、原価主義による使用料・手数料の見直し						
経過・現状 (H17.4.1現在)	合併時に、住民の負担を軽減するため、旧5町の一番安い使用料を採用した経緯あり。						
行 動 概 要	①目標	火葬場使用料の改定		(目標年次)	平成19年度		
	②期待される効果	16年度実績で2,741千円、改正後の19年度では3,942千円となり、1,201千円の増額が見込まれる。					
	③必要性・問題点	火葬場の維持・管理を行ううえで、18年度は一般財源から約2千万円の費用を支出している。 (単位:円)					
			町内	改正	町外	改正	
			6歳未満	4,000	7,000	14,000	17,000
			6歳以上16歳	5,000	9,000	14,000	19,000
		16歳以上	8,000	12,000	18,000	22,000	
		改葬一回につき	5,000	6,000	15,000	16,000	
		身体の一部	3,000	3,000	13,000	13,000	
④対象	町民						
⑤手段	年度	実施内容・予定時期		効果額合計( 3,603 千円)			
		17年度 (実績)	使用料の値上げの検討 経費等の把握		目標 数値		
					効果	歳入(           千円) 歳出(           千円)	
		18年度	経費等の把握を行い、使用料の値上げの検討 条例改正		目標 数値		
					効果	歳入(           千円) 歳出(           千円)	
		19年度	新使用料の実施 引き続き、経費等の把握を行い、適正な料金の算出 に努める。		目標 数値		
					効果	歳入(       1,201 千円) 歳出(           千円)	
		20年度	引き続き、経費等の把握を行い、適正な料金の算出 に努める。		目標 数値		
					効果	歳入(       1,201 千円) 歳出(           千円)	
		21年度	引き続き、経費等の把握を行い、適正な料金の算出 に努める。		目標 数値		
					効果	歳入(       1,201 千円) 歳出(           千円)	
関係例規等	名称	火葬場条例		改正時期	平成18年度		